

提案団体名: 住友商事株式会社

(複数団体による提案も可とします)

○提案内容

(1) 自社の保有するスマートアイランドの実現に資する技術と実績等	技術の分野
<p>1. 鹿児島県 薩摩川内市における 甌島リユース蓄電池実証事業</p> <ul style="list-style-type: none"> EVで使い終わった36台分のリユース蓄電池を用いた経済性の高い大型蓄電池システムを設置。 電力システム(系統)に直接接続し、蓄電池をコミュニティで運用することで、同島内にできるだけ多くの再エネを導入する環境を整備。 蓄電池システムの運用方法を確立することができ、運用の主体を地域側に移転することを同市と検討中。 <p>2. こしき島 미래の島プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> 同島にEV40台を導入し(2017~19年度)、再生可能エネルギーの余剰電力をEVに充電する実証事業を実施。普段は、コミュニティ間を繋ぐ、環境にやさしい離島の交通手段として活用将来は、EVの蓄電池としての活用価値を充電インフラ整備に還元する仕組みを検討。 <p>3. 国内外のスマートシティ案件への入札経験と海外提携先</p> <ul style="list-style-type: none"> 海外パートナーと提携し、複数のスマートシティ案件に参画することを検討中。 	<p>下記のうち、該当するものを○で囲んでください。</p> <p>交通・モビリティ エネルギー 物流 防災 観光 教育 健康・医療 環境 産業 担い手確保・人材育成 その他</p>
(2) (1)の技術を用いて解決する離島の課題のイメージ	
<p>1. 「リユース蓄電池」モデルの定着と電動車の普及によって、循環型の持続可能なエネルギー社会の構築と島内の公共交通機能の拡充に貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> 電動車の普及拡大のハードルとなる車両価格の課題を解消(中古電池に残価を付けることで解決)。 使い終わった後の廃電池の処理の課題を解消(蓄電池として再利用、最終的にはまとめて適正産廃処理)。 <p>2. 地域コミュニティが主体的にエネルギーインフラを運用する「地域エネルギーサービス事業」の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> 再エネがこれ以上導入できない離島に、蓄電池システムを導入する事で、できるだけ多くの再エネを呼び込む環境を構築し、エネルギー源の多様化を図る。 離島のCO2排出削減、エネルギーコスト(国民負担)の低減、地産地消型の強靱なエネルギーインフラの提供。 最終的な目標は、再エネで全てのエネルギーを賄うゼロエミッションアイランド。 <p>3. 「地域エネルギーサービス」事業からサービスプロバイダー(地域ESP事業)への展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 次世代エネルギー事業を一過性の実証事業に終わらせることなく、地域社会に持続的な事業として定着させる。 「地域エネルギーサービス」事業がサービスプロバイダーとなって、充電サービス・電池交換・蓄電池システム運用・環境価値提供などの各種サービス提供のハブとなることを検討。 	
(3) その他	
<ul style="list-style-type: none"> 上記の地域ESP事業は、次世代通信・物流・医療などの技術を導入する場合にも、サービス提供のプラットフォームとしての役割を担う可能性がある。 	

※(1)(2)について、複数ある場合は項目毎に対応の記載をお願いします。

※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。

※参考資料がある場合は適宜添付をお願いします。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
社会インフラ事業本部	石原 賢人	03-6285-5552	kento.ishihara@sumitomocorp.com